

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

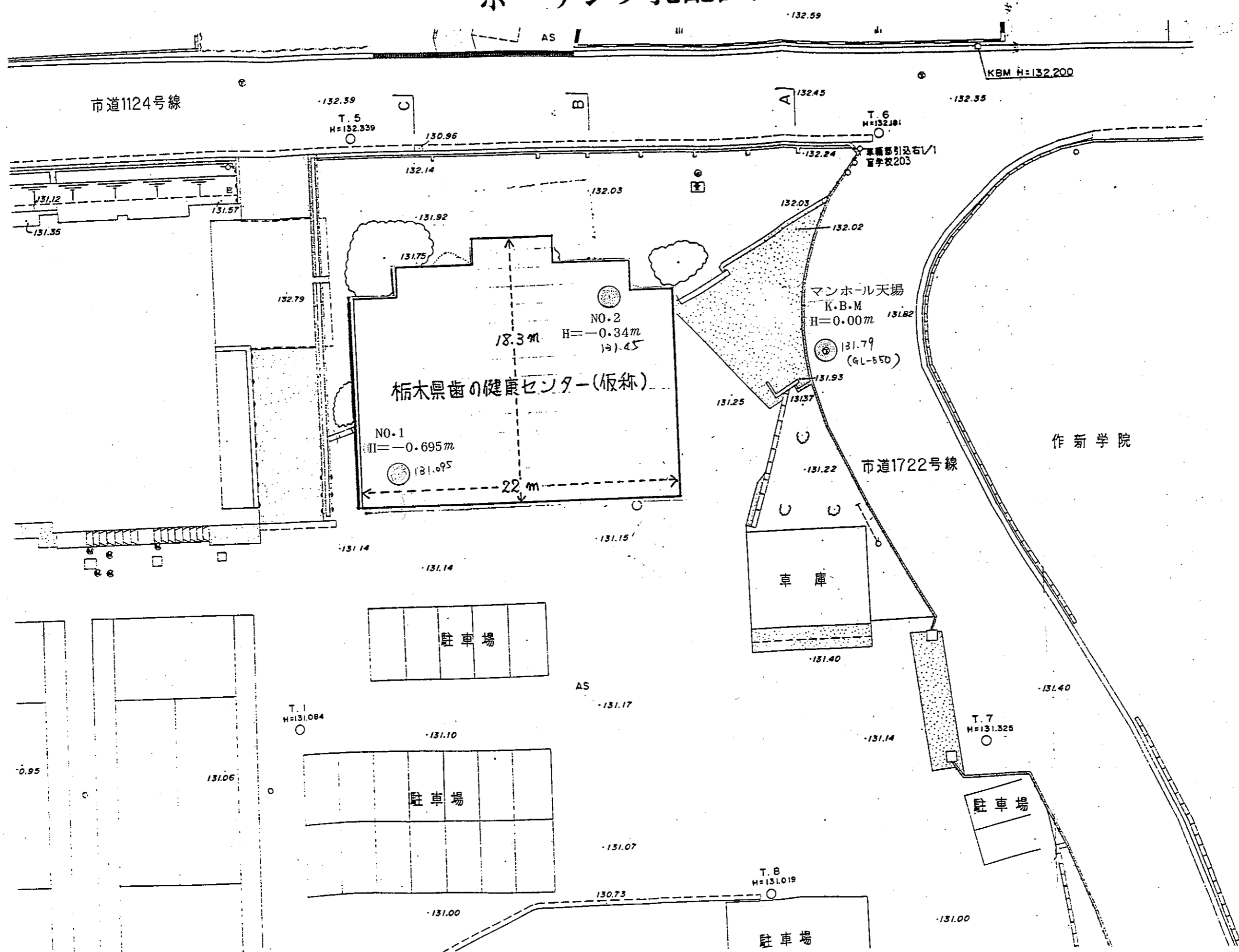
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図



ボーリング孔配置図



土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県産の健康センター (仮称) 新築工事に伴う地質調査

調査年月日 平成 4 年 6 月 15 日

調査地点 宇都宮市一の沢508番地

標高 0.695 m

平成 4 年 6 月 16 日

ボーリング孔: No. 1

機種 KR-100

孔内水位(自然泥) 2.90 m

調査責任者

標尺 m	層厚 m	土質記号	土質名	色調	記 事	深 さ m	標準貫入試験			採取試料・原位試験		
							深さ m	打撃回数 10cm 20cm 30cm	N 値		試料番号	深さ m
0												
1	0.60	X	盛土	暗灰	アスファルト厚5cm 礫及び腐植土より 成る	1.15	3/30	1	1	1		
2	1.10	〰	ローム	茶灰	含水(中)腐植物 混入均質な層を呈す	1.45	1/30					
3	1.10	△	軽石	黄褐	含水(大)腐植物 混入粒径不均質 浮石・黒灰混入	2.15	2/30	1/20				
4	0.80	〰	ローム	茶灰	含水(中)全体にや や粘性帯びる 下部若干砂分混入す	2.45	50/30	12	17	21		
5		○				3.45	50/28	16	18	16/8		
6		○				4.15	42/30	15	12	15		
7		○	砂 礫	暗茶灰	含水(中) 粗中粒砂多混入 最大100mm程円礫所 々点在	6.15	41/30	15	10	16		
8		○				6.45	27/30	11	9	7		
9		○				7.15	50/16	29	21	6		
10		○				7.45	50/30	15	20	10		
11		○				8.15	50/21	25	22	3/1		
12	8.65	○				8.45	50/10					
13						9.15						
14						9.31						
15						10.15						
16						10.45						
17						11.15						
18						11.36						
19						12.15						
20						12.25						

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
D: デニソン型サンプラー

注2) 原位試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県産の健康センター(仮称)新築工事に伴う地盤調査

調査年月日 平成4年6月17日

調査地点 宇都宮市一の沢508番地

標高 0.34 m

平成4年6月18日

ボーリング孔: No. 2

機種 KR-100

孔内水位(自然泥) 3.20 m

調査責任者

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	去質記号	観察記録		標準貫入試験				採取試料・原位試験 試料番号	深さ m	注1) 注2)	
					土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 H/cm	10cmごとの 打撃回数				74μm通過質量百分率 (%)
0	0.84	0.50	0.50	X	盛土	暗黒	礫及びシルト質土より成る	3/30	1	1	1	1		
1				〰	ローム	茶灰	含水(中)腐植物混入均質な層を呈す下部浮石点在	4/30	1	2	1	1		
2	2.69	2.35	1.85	△	軽石	黄褐	含水(大)腐植物混入粒径不均質浮石・黒灰混入	1/30						
3	3.79	3.45	1.10	△	ローム	茶灰	含水(中)全体にやや粘性帯びる下部若干砂分混る	7/30	1	1	5	5		
4	4.74	4.40	0.95	〰			含水(中)粗・中粒砂多混入最大100mm程円礫所々点在す	50/30	25	15	10	10		
5				○			含水(中)粗・中粒砂多混入	50/10						
6				○			最大100mm程円礫所々点在す	50/30	20	15	15	15		
7				○	礫	暗茶褐	深度8.60m附近より砂分やや多く混入す	41/30	14	12	15	15		
8				○			5~25mm前後の角礫全体に多く混入す	40/30	11	12	17	17		
9								50/20	28	22				
10				○				50/19	26	24	9	9		
11				○				50/30	25	10	15	15		
12	12.79	12.45	8.05	○										

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクウォールサンブラー F: フォイルサンブラー
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位試験方法の記号